

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「彩都発」エコライフスタイル創造計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

大阪府

3 地域再生計画の区域

茨木市及び箕面市の区域の一部（彩都（国際文化公園都市））

4 地域再生計画の目標

（1）彩都（国際文化公園都市）の概要

彩都（国際文化公園都市）は、茨木市・箕面市域にまたがる丘陵地において、公共と民間が協力して推進している新都市建設プロジェクトで、開発面積（全体計画）約 740ha、計画居住人口約 5 万人、事業主体は(独)都市再生機構、民間開発事業者等である。

周辺の里山、棚田などの豊かな自然・農空間や大阪大学、国立循環器病センター、産業技術総合研究所、国立民族学博物館などの高度な学術・研究機関の集積といった地域特性を活かし、国際交流、学術文化、研究開発等の未来機能を組み込んだ自然と都市が調和するアメニティの高い複合機能都市づくりを進めている。

平成 16 年 4 月に、供用面積約 25ha、320 世帯約 1000 人で「まちびらき」した。以後、住宅は即日完売の状態が続き、また、彩都ライフサイエンスパークには、医薬基盤研究所をはじめ 9 施設が立地決定するなど研究機関の集積も進み、順調にまちづくりが進展してきた。

本年 3 月には、待望の交通アクセスである大阪モノレールが彩都西駅まで延伸開業するとともに駅前商業施設も開業するなど、「彩都西部地区のグランドオープン」を迎え、まちの利便性や賑わいも飛躍的に向上したところであり、本年 4 月末現在で供用面積 120ha、1600 世帯約 4700 人の、複合機能を有するまちへと成長してきた。

年齢別人口は、30 歳代や就学前～小学校低学年の層が多く、平均年齢は周辺地域に比べて低くなっている。

魅力ある彩都のまちづくりは、マスコミにもたびたび取り上げられており、このようなまちのイメージアップやグランドオープンのインパクトなどにより、今後ますます彩都への入居や施設立地のニーズが高まるものと考えている。

（2）環境に関する課題・取組み

このような時代を先導する未来型のまちづくりを進める彩都にとって、「環境との共生」は、まちづくりの大きなテーマであり、まちびらき時から、環境への様々な取組みが行われてきた。

ある民間マンションでは、軽自動車を使ったカーシェアリングシステムを導入し、環境省の平成 16 年度「地球温暖化対策ビジネスモデル事業」に採択された。また、医薬基盤研究所では、屋上緑化が行われている。彩都西小学校では、太陽光発電システムを導入し、併せて発電量がわかる表示板を設置し、子どもたちへの環境教育に役立てている。戸建エリアの一部では、雨水貯留タンクや、ガスコージェネレーション、ペレットストーブ、CO₂ ヒートポンプなどの新エネルギーシステムの設置などが行われている。この他にも、雨水利用、太陽光発電導入、緑化の推進などを行っているマンションや施設が建設されている。

こうした取組みにより、彩都は、平成 17 年 4 月に都市再生プロジェクト「地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域」に指定された。

これらの新エネルギーシステム等の導入は、彩都の住民はもとより、彩都への来訪者やこれから彩都への転入を検討している人々に、省エネルギーや新エネルギーに対する理解を深め、普及を促進する大きな効果を持っている。さらには、大阪における地球温暖化対策にも寄与するものである。

このため、彩都における新エネルギー等の導入や啓発活動を官民が連携して推進する「彩都エコエネルギー推進協議会」(大阪府、茨木市、箕面市、(独)都市再生機構、民間事業者で構成)を平成 17 年 12 月に設置し、啓発セミナーの開催などを行っている。

本年 3 月に竣工したマンションへの入居開始等により、彩都の人口は、3 月、4 月の 2 ヶ月で約 2000 名も増え、今後も彩都への入居が続くと考えられる。また、地球温暖化の取組みは、平成 17 年 2 月の京都議定書発効を受け、ますます重要となっている。CO₂ 削減には、省エネルギーシステムの導入や、一人ひとりが日常生活において環境に配慮した行動に取り組みなければならない。特に都市再生プロジェクト「地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域」に指定されている彩都では、他地域のモデルとなるような取組みが求められている。しかし、戸建エリアでは、太陽光発電など新エネルギーシステムの導入は一部に限られており、既存住宅やこれから建築される住宅へのシステムの普及や、彩都に住む人やこれから住む人に対する理解増進が課題である。

これらの「彩都」の置かれた状況を踏まえると、省エネルギーなどの環境保全や環境学習活動を先導的に行うことのできる人材の育成、環境セミナーの開催、環境関連補助事業の実施などにより、環境問題への啓発活動をより一層充実させることが課題となっている。

(3) 目標

省エネルギーなどの環境保全や環境学習活動に率先して取組み、行動できる「エコエネルギー・コーディネーター」の育成、エコエネルギー設備の導入、環境セミナーの開催などを通じて住民の環境に対する意識高揚や新エネルギーシステム等の普及促進を図ることにより、「彩都発」のエコライフスタイルを構築する。さらに、府域・他地域にモデルとして発信することにより、「地球にやさしく、快適な暮らしをめざす」都市を実現する。

〔数値目標〕

エコエネルギー・コーディネーター育成人数 20人以上
育成されたエコエネルギー・コーディネーターによる環境啓発活動
一人当たり1回/年

5 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

目標を実現するため、彩都エコエネルギー推進協議会やNPO等の民間団体と連携し、指導者となるコーディネーターの養成や住民を対象とした講座など啓発活動の充実、新エネルギーなどエコエネルギー設備の導入促進などの事業を行う。

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業 該当なし

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 基本方針に基づく支援措置 市民活動団体等支援総合事業【C2001】

【支援措置の概要】

彩都かんきょう未来塾

〔実施主体〕

特定非営利活動法人大阪府民環境会議（OPEN）

〔事業の概要〕

自ら環境に配慮したライフスタイルの実践と、総合的な環境の視点、環境マインドを持って、彩都及び周辺地域における省エネルギーなど環境の保全・学習活動に率先して取組み、助言・指導を行うことのできる担い手を育成することを目的に、「エコエネルギー・コーディネーター養成講座『彩都かんきょう未来塾』」を開催する。

（講座内容）

受講者 30名

平成19年8月～12月開催

セミナー、ワークショップ、フィールドワークなど

・理論編 延べ14時間、実践編 延べ24時間、8日間

パワーアップ講座

・実践講座（4日間延べ12時間）

エコエネルギー行動・学習プログラムづくり講座

・行動・学習プログラムの企画から実施までを学習する場（4日間延べ8時間）

5 - 3 - 2 支援措置によらない独自の取組み

（1）彩都におけるエコエネルギー設備・ヒートアイランド対策の導入

- ・民間マンション カーシェアリング、屋上緑化、雨水貯留の実施
- ・戸建住宅 ガスコージェネレーション、CO₂ ヒートポンプ、
ペレットストーブ、雨水貯留の導入
- ・医薬基盤研究所 屋上緑化の実施
- ・小学校及び公園管理棟 太陽光発電システムの導入

(2) 環境実証住宅

平成17年度に国土交通省の補助事業に採択されたものであり、木造軸組の在来工法に全館空調及び高効率ヒートポンプなどの設備技術を導入し、省エネルギー性と快適性を両立させた住宅を建設。

- ・実施主体：関西電力(株)ほか民間事業者によるコンソーシアム

(3) 茨木市太陽光発電設備・雨水ます導入への補助金

- ・雨水貯留ます 20,000 円/基 (平成18年度)
- ・太陽光発電 30,000 円/kw 4kw まで (平成18年度)

(4) 彩都・都市エネルギーモデル研究会

21世紀の新しいエネルギーモデルを指向し、広い視点で面的利用することにより、高い環境性能と実現可能性を有するソリューションを目指すため研究会を開催。

- 参加メンバー：大阪大学、大阪府、茨木市、箕面市、民間開発事業者
- オブザーバー：近畿経済産業局、関西電力(株)、大阪ガス(株)

(5) 彩都エコエネルギーセミナー

- ・主催：彩都エコエネルギー推進協議会
- ・年1回 4講座を実施
- ・本事業の「教育実習」の場としても活用する。

6 計画期間

平成19年度から21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

- ・エコエネルギー・コーディネーターへの活動状況アンケート
 - ・啓発イベント等における参加者へのアンケート
- などを行い、目標の達成状況を評価し、改善すべき事項の検討を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし